

ソケイヘルニアの腹腔鏡手術

外科

井上 敦 さん
国吉病院 一般外科部長



合は男性と比べて精
管や精巣動静脈な
どの器官がないため
手術による合併症
が少ないことから適
応とされています。

数年前から、小児のソケイヘルニア手術で腹腔鏡
下経皮的腹膜外ソケイヘルニア手術(LPEC)と
いう方法が行われるようになってきました。この
手術は、腹腔鏡をおなかの中に入れてヘルニアを腹
腔内から観察し、ヘルニア門を腹膜の外側から縛っ
て門を閉じるだけの手術です。通常の腹腔鏡手
術で使われるポートよりも細いものを使用して、
術後の傷が目立たないことが特徴の一つです。成
人の場合、この手術方法では再発しやすいので行
われていませんが、小児はヘルニア門を縫い縮める
ことで大抵の場合完治します。しかし、最近の報
告では、30歳くらいまでの若年の女性でもこの方
法がとられるようになってきました。もともと30
歳くらいまでの若年者では、ヘルニア嚢(サック)の
切除とヘルニア門の縫縮(補強)で済むケースが多
く、さらに女性の場